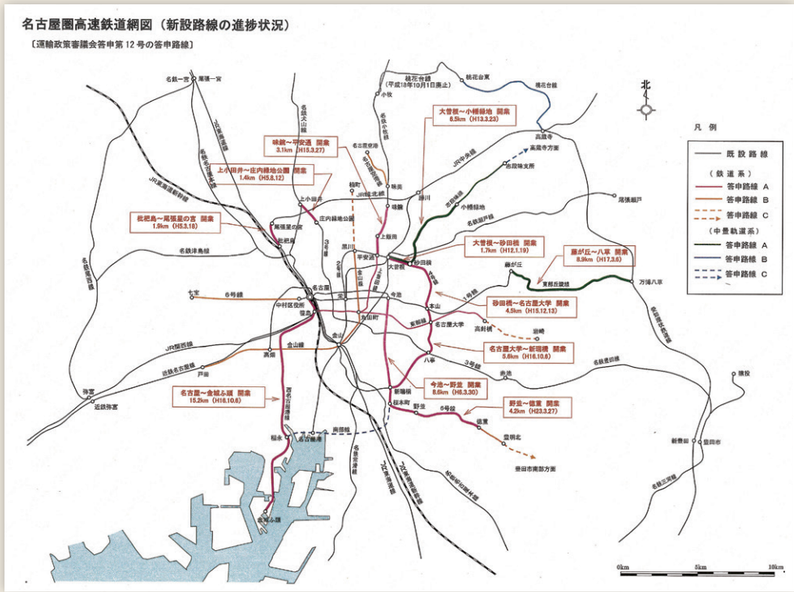
国土交通委員会　2021年3月17日　岡本充功　質疑詳細報告

名古屋圏の高速鉄道網の新設路線の進捗状況について

Q 高速鉄道網の新設路線が地元自治体で協議されているが国はどのように関与するのか。

A 桜通線の延伸に対する協力についてですが、国交省では中部運輸局を通じて愛知県、名古屋市、あま市、津島市及び大治町に対し鉄道プロジェクトにおいて議論の場を設けている事例を紹介しました。国交省と致しましては関係地方公共団体の動向を把握し、専門家のご紹介や収支採算性等の算出方法など必要な助言を行ってまいります。



ポスター掲示のお願い

○岡本みつのりのポスターを貼って頂ける場所を探しています。
○駐車場、田畑、空き地、工場やご自宅の壁など、お邪魔にならない場所で結構です。また、期間限定、短期間でのご掲示でも結構です。
○ご連絡頂ければ、日程を調整の上、事務所より担当者が掲示に伺います。

ミニ懇談会開催中

○岡本みつのりと、直接ひざを交えて語り合いませんか？
○お店の一室、ご自宅や喫茶店などで国政の現状や課題をお話しします。また、お住まいの地域の課題などを是非お聞かせください。
○どなたでもお気軽にご参加ください。日程や場所の詳細は、事務所までお問い合わせください。

岡本みつのりの活動を支える個人寄付サポート募集中

日頃より厚いご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

皆様のおかげをもちまして、政治活動も五期目を迎え、厚生労働分野を中心に、農林水産、災害対策等の幅広い分野で働くことが出来ています。初当選以来、国民ひとりひとりが安心して暮らせる社会の実現に向けて、皆様の声をしっかりとお聞きし、国政に反映させる活動を実直に行ってまいりました。

ただ、政治活動には多くの支出を要します。議員歳費も頂戴していますが、人件費、家賃、印刷、郵送費など、これら全てをまかなうのは大変難しいのが実情です。

そこで、大変心苦しいお願いですが、ご寄付で岡本みつのりを支えて頂けないでしょうか。なお、頂いたご寄付は、その金額に応じて、所得税や住民税の減額対象となります（但し、確定申告が必要になります）。

ご寄付のお申し込みやご不明な点についてのご質問などございましたら、事務所までお問い合わせください。

岡本みつのり Twitter　岡本みつのり Facebook　岡本みつのり LINE　岡本みつのり　検索

衆議院議員
医師・医学博士

岡本みつのり

略歴
1971年6月生まれ
名古屋大学医学部卒業
名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了
一宮市民病院・津島市民病院等で勤務
元厚生労働大臣政務官

http://www.mitsunori.net

「これから」をささえる　政治の特効薬

明るいニュースがない昨今、うれしい話題が飛び込んできました。ご病気で療養、復帰を目指していた水泳の池江選手が五輪内定とのこと。つらく厳しいリハビリを乗り越えて勝ち得た喜びは格別なことと思います。聖火リレーも愛知を経由し、最終目的地へと進みつつあり、この上は是非ともオリンピック・パラリンピックを開催してほしいと思います。

6都府県には「まん延防止等重点措置」が実施され、時短営業を余儀なくされています。第4波の懸念もありますが、政府には新型コロナウイルスの封じ込め、感染対策の徹底に万全を期していただいて、オリンピック・パラリンピックを日本全国の皆様と享受できるように、我々も野党ではありますがしっかりと尽力して参りたいと思います。

立憲民主 The Constitutional Democratic Press
RIKKEN MINSHU 号外
立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
http://cdp-japan.jp/

立憲民主党愛知県第９区総支部
〒492-8181　愛知県稲沢市日下部北町4-1-3
TEL：0587-24-8164
FAX：0587-24-8165

第5号

国土交通委員会
2021年3月17日

岡本 充功
質疑詳細報告

鍋田川河口部耐震対策について

Q 鍋田川の河口部分（弥富町・木曽岬町）は地震対策、津波対策が重要であると思うが耐震対策の状況は。

A 緑風橋から下流区間約六百メートルの耐震対策は今年度完了。緑風橋から上流約八百メートルの耐震対策は令和七年頃に完成予定。下水門（右図の緑色の赤丸部分）は来年度から工事着手し令和七年度頃の完成を目指しています。鍋田川を横断する堤防４百メートル（右図の緑線）の部分は令和三年度対策工法等の検討を行う予定です。

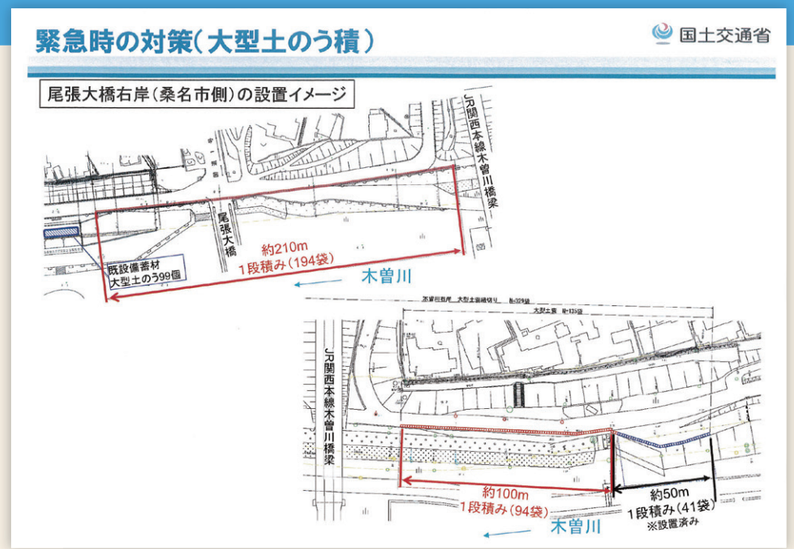
鍋田川河口部の耐震対策（耐震性能照査・耐震対策）状況図　R3.2末時点

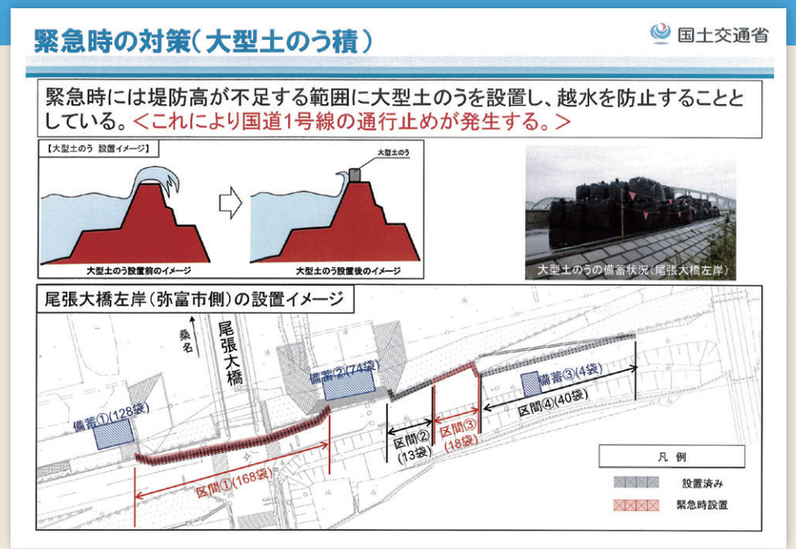
※地震・津波や洪水で弥富町・飛鳥村への浸水が懸念される中、鍋田川の耐震・高潮対策は最重要である。

木曽川にかかる国道一号線について

Q 木曽川にかかる国道一号線の堤防が低くなっていて土のうで補強するということだが、愛知県側でも1ｔの土のうを運んで穴埋めするが設置するまでに**4時間**、撤去で**4時間**合計**8時間**かかりその間国道はストップする、2月に関係各所の検討会が開かれたようだが課題は。

A 国道一号線の尾張大橋を含む上流部の堤防は計画に対して最大二メートル不足していて高潮や洪水が発生した時に氾濫が発生するおそれがある。検討会でも役割分担や実施手順の検討を進めているが設置時間4時間というのは大きな課題と認識している。





蟹江町の踏切について

Q 蟹江町の町道東郊線とJR関西線の踏切について歩道が狭溢であり、子ども達が通行しているが非常に危険である。町は立体交差や道路を架ける予定だが、JRと話をした中で踏切切替えポイントの移設で**踏切拡幅**できるのではないか。またその費用はいくらかかるのか。

A 現在JR東海と蟹江町の間で検討が進められている状況で具体的な歩道の拡幅案の検討が行われている。移設の費用についてはJR側は算定していない。
※その後の調査で移設概算費用は約6.3億円（分岐器2の場合は3.9億円）と算定。

Q 立体交差を一つの目標として最終的に踏切改良を求めている事例は全国にもあると思うが、一時的に現存踏切を拡幅する費用は社会整備事業交付金の対象になるのか。

A 地域の状況などによるが踏切道の拡幅に社会資本整備総合交付金を使っている事例はある。
※すなわち国費での工事が可能との答弁を引き出した。